

# 2022 ART BRUT

## 「真柄ふれ愛アール・ブリュット展」閉会のご挨拶

～多様性から生まれる多様な世界～

謹啓 余寒の候ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当財団の運営にご理解いただき、このたびの催し物についてもひとかたならぬご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、開催期間中は新型コロナウイルス感染拡大のため蔓延防止等重点措置が適用された中でしたが、当財団といたしましては障がいのある人にとっても文化芸術活動は社会生活を営む上で必要不可欠であると考え、感染症予防対策を十分行った上で「真柄ふれ愛アール・ブリュット展」を開催いたしました。

開催中は感染者が確認された場合や濃厚接触者への対応などいろいろな場面が想定されましたが、来場者の皆様が安心してご観覧いただけるよう工夫を凝らしスタッフ一丸となり会場を作り上げました。

コロナ禍で多くの皆様にご来場いただけるか心配をしておりましたが、2月1日から2月6日の6日間に約1,100名の方がご来場され、多様性が生み出す多様な作品の観覧を楽しまれていただけたと存じます。

観覧の皆様から「アール・ブリュットを見るのは初めてで面白かった」、「文字で描かれた絵画に驚かされた」、「新聞紙がきれいに束ねてあったのに感心した」など様々な感想をいただき、皆様のお陰をもちまして「真柄ふれ愛アール・ブリュット展」を無事に終了することができました。ご来場いただきました皆様には心から御礼申し上げます。

今後もこのような企画展の実施もあるかと存じますが、ご支援いただきますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

令和4年2月10日

公益財団法人真柄福祉財団  
理事長 真柄紀子